

9 本時の学習活動

(1) 本時の目標

空の色を自分なりに捉えて、材料や用具の特徴をいろいろ試しながら、主体的に自分の空色をつくる。

(2) 本時の展開

学習過程	学習内容 ・ 予想される児童の姿	◇指導上の留意点 ◆評価
導入 10分	T：空の色ってどんな色？ C：青、水色 T：他にはない？ ① 空の色を思い描く ・曇りの日は白や灰色に見えるね ・夕方にはオレンジ色や紫色になるよ。 ・虹がかかるといろんな色が見えるね。 ② 今日の活動のめあてを知り、想像力を働かせてどのような空色にするか考える。	◇子どもとのやり取りの中から、時間、場所、季節、気候条件などによって様々な色になる事を確認していく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ローラーを使って自分の思う空の色を表そう（空色の画用紙をつくろう） </div>		
展開 45分	③ ローラーを使って色をつけながら、自分の空色をつくっていく。 ・やっぱり青かな？ ・混ぜてもいいのかな？ ・夕焼けの感じを出したいな。 ・夜空にするには黄色をどうしよう？ ・色の混ざりあった感じからいいこと考えたよ。 ・絵の具の量によって色の感じが違うね。 ・同じ色でも違う色の上に重ねると雰囲気が変わって見えるね。	◇実演しながらローラーの使い方やグラデーションの効果について説明する。 ◇それぞれの経験や知識、記憶や思い出を個別に思い起こさせ、活動のきっかけにする。 ◇材料や用具に働きかけることを楽しみながら表し方を試行錯誤している姿を共感的に見守る。活動の停滞のように見える場面も尊重し、時間をかけて待つ。 ◇つくっている空の色にどのようなイメージを広げているのか具体的な子どもの姿や作品から捉えたり、直接聞いたりしながら個別に支援していく。 ◆材料や用具の使い方を工夫しながら、主体的に自分の空色をつくっている。 【主体的に学習に取り組む態度】
振り返り 片づけ 5分	④ 本時を振り返る。 ⑤ 片づけをする。	◇自分の工夫や思いが作品に出ているか振り返らせる。